

U-Concept の効果及び有効な使用法について

根津矯正歯科クリニック 仲谷 龍太郎



略歴

2013年 東京歯科大学卒業
2014年 神奈川県川崎市根津矯正歯科クリニック勤務
2021年～同クリニック診療主任就任

所属

日本矯正歯科学会
東京矯正歯科学会
Bioprogressive Study Club (BSC)

Uコンセプトをはじめとする各種トレーナーは、R. FränkelのFR(ファンクションレギュレーター)の治療概念を生かし、既製の筋機能訓練装置として簡便化したものと考えられる。その目的は、不正咬合の発症期における機能不全をコントロールし、形態と機能の調和を保ちながら正常な咬合育成を目指すことにある。しかし、装置の適応と選択を誤ると、期待する結果を得ることは困難となる場合も多い。

Uコンセプトの選択はチャート表に沿って下記の種類から行うが、その方法は比較的シンプルであるといえる。

- ① 乳歯列用：U-Kiddy
- ② 混合歯列期用
 - a I級（軽微なII級を含む）不正咬合用：U-Trainer
 - b II級不正咬合用：U-Class 2
 - c III級不正咬合用：U-Class 3
- ③ 混合歯列期後期から永久歯列期に適用：U-Pilot
- ④ ブラケット装置と併用可能：U-Brace

装置の本体であるシリコンの材質は、今まではソフトタイプのみであったが、最近やや硬さのある、セミリジッドタイプもラインナップし、症例に合わせた選択も可能となっている。

Uコンセプトの「U」は不正咬合の「アンロッキング：UNLOCKING」の「U」から由来している。アンロッキングとは不正咬合の窮屈な状態を開放するという意味であり、形態的アンロッキングと機能的アンロッキングがある。矯正治療はその両面からアプローチすることが非常に重要である。

今回は、R.M. Ricketts、C.F. Guginoらが提唱する不正咬合のアンロッキングと不正咬合の早期治療の考えにもとづき、Uコンセプトを含む既製のトレーナーの作用と活用について解説し、どのような症例に適用すべきか紹介したい。